

45 ヨハネ 13 章 31-38 節

※前回は、イスカリオテ・ユダの裏切りを学びました。イエス様は彼に何度も悔い改めの機会を与えましたが、彼は最後まで悔い改めませんでした。最後の晩餐の席で、イエス様からパン切れを受け取ると、すぐに出て行きました。時はいつでしたか?時は夜でした。それは単に夜であったということではなく、永遠の暗闇を表していました。彼はイエス様から離れて、永遠の暗闇に落ちることを選んだのです。しかし本当の弟子は、イエスのもとに留まります。ユダが出て行った後で、イエス様はとても大切なことを話されました。それが今日の箇所です。

1、「ユダが出て行ったとき」イエス様は大切なことを語られました、書き写してみましよう。(31.32)

・「人の子」とは誰のことでしょう。 また「子は栄光を受け、神も人の子によって栄光をお受けになりました」…「しかも、すぐに与えて下さいます」って何のことを言っているのでしょうか?

※クリスチャンでない、世間一般の方々の多くは、「救い主が十字架にかかれた」ということをどんなふうに見ているのでしょうか?…

・イエス様、父なる神様はそれを「栄光を受ける」時と告白しています。あなたは「十字架」を「栄光を受ける」時という認識はあるのでしょうか?

※私たちの人生にも「十字架」に直面する時があります。「この杯を取り除いてください」と祈りたくなるような時、どうしても乗り越えられないと思うような困難に直面するときです。しかし、それは栄光の時でもあるのです。問題は、あなたがその十字架をどのように受け止めておられるかです。ぜひ、これらのことを覚え「十字架」の時こそ祝福の門であると信じて、イエス様の言われるように『あなたの十字架を負って』キリストに従ってまいりましよう。(ルカ 9:23)

2、(33)の御言葉の意味することを自分の言葉で言い表してみましよう。そして(36)のペテロへの説明との違いを見つけてみてください。さてその意味するところは?

※現在は聖霊が降っておられる時代なので、イエス様を信じてクリスチャンになった時に聖霊をいただいているので、ペテロへの説明の部類に入ります。生涯この信仰のうちを歩ませてくださいましよう。

・イエス様の預言にむきになって返答するペテロでしたが、その通りになりました。グループで語り合ってみましよう。(ヨハネ 18:25-27)(ヨハネ 21 章)(使徒 2 章)(ペテロの殉教について調べてみましよう)

4、イエス様が私たちに与えられた新しい戒めとは何ですか?(34)を書き写してみましよう。

・あなたはこのキリストの戒めのうちに生きたいと願いますか? またクリスチャンが、そして教会がその戒めのうちを歩み、守るなら、どういうことが起こるとイエス様は言っていますか?(35)書き写してみましよう)

※このことについてもグループで語り合ってみましよう。

5、イエス様はどのようなお方ですか?